

- 平成25年度「汚染水処理対策技術検証事業」に係る補助事業者の公募のご案内

平成25年度補正予算「汚染水処理対策技術検証事業」に係る補助事業者の公募のご案内

三菱総合研究所

2014.3.24

MRIニュース

株式会社三菱総合研究所は、資源エネルギー庁から選定されて「廃炉・汚染水対策事業」の事務局業務を実施しております。本事業は、「廃炉・汚染水対策事業費補助金交付規程」に基づき、廃炉・汚染水対策に資する技術の開発を支援する事業に対する助成を行い、これにより我が国の科学技術の水準の向上及び廃炉・汚染水対策を円滑に進めることを目的としています。

このたび、平成25年度補正予算「汚染水処理対策技術検証事業」を実施する補助事業者を、以下の要領で広く募集します。なお、応募に際しては、[公募要領](#)も併せてご確認下さい。

平成25年度補正予算「汚染水処理対策技術検証事業」に係る補助事業者の公募に関して

1. 事業の目的

東京電力(株)福島第一原子力発電所1～4号機(以下「福島第一原発」という。)における汚染水対策については、平成25年12月10日に、汚染水処理対策委員会にて「東京電力(株)福島第一原子力発電所における予防的・重層的な汚染水処理対策～総合的リスクマネジメントの徹底を通じて～」([概要](#):2.6MB、[本文](#):105MB)が取りまとめられ、これを受けて、同年12月20日に政府として、「東京電力(株)福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水問題に対する追加対策」([概要](#):0.3MB)がとりまとめられたところです。

追加対策においては、効果が期待されるが、活用するに当たって確認・検証が必要な技術のうち、技術的に難易度が高いものについて、技術の検証を進めていくこととしており、

今回、本事業においては、「2. 公募対象事業」に記載する技術の検証を行います。なお、「2. 公募対象事業」に記載する技術以外についても、今後、技術の検証を行う可能性があります。

2. 公募対象事業

(1) 海水浄化技術検証事業 ([別紙1\(1\)](#))

現在、福島第一原発の港湾外や港湾口における放射性物質濃度は、低いレベルにとどまっているものの、港湾内の1～4号機取水路前の一部のエリアでは、濃度が一定濃度以下に低下しない状況にあることにかんがみ、海水中における、主として放射性セシウム、放射性ストロンチウム等の浄化技術について、その除去性能を検証するため、実証試験を行います。

(2) 土壌中放射性物質捕集技術検証事業 ([別紙1\(2\)](#))

福島第一原発における汚染水の漏えいを踏まえ、一定以上の塩化物イオン濃度下(200ppm以上)における、土壌中の放射性物質(主として放射性ストロンチウム)捕集技術の捕集性能を検証するため、実証試験を行います。

(3) 汚染水貯蔵タンク除染技術検証事業 ([別紙1\(3\)](#))

福島第一原発サイト内では、ボルト締め型タンクから、溶接型タンクへのリプレイスを順次実施しますが、解体作業における作業員の被ばくを低減する観点から、複雑な構造を有する、ボルト締め型タンクにおいて、内部に貯留する汚染水を排水し、解体する前の作業として行う除染作業について、除染性能を検証するため、実証試験を行います。

(4) 無人ボーリング技術検証事業 ([別紙1\(4\)](#))

福島第一原発内では、今後もボーリング工事が必要不可欠であるところ、ボーリング作業時における作業員の被ばくを低減させる観点から、高線量下での無人ボーリング性能を検証するため、実証試験を行います。

3. 事業実施期間

契約締結日～平成27年3月31日

4. 応募手続き

(1) 募集期間

募集開始日：平成26年3月24日（月）

締切日：平成26年5月19日（月）日本時間正午必着

（2）説明会の開催

開催日時：4月上旬頃、インターネット上で国内外向けの説明会を予定しております。

具体的な内容は、別途、ホームページで告知します。

（3）応募書類等

[公募要領](#)を参照ください。

5. 審査・採択、補助対象経費、補助金交付手続き、等について

[公募要領](#)を参照ください。

6. 問い合わせ先

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-10-3 株式会社三菱総合研究所

科学・安全政策研究本部 廃炉・汚染水対策事業事務局

担当：滝沢、佐藤

電話：03-6705-6158 FAX：03-5157-2145

E-mail：hairo-jimu@mri.co.jp

公募内容に関するお問い合わせは電子メール又はFAXでお願いします。電話でのお問い合わせは受付できません。
